



平成 29 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 s M e d i o
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岩 本 定 則
 (コード番号：3913 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 室 長 北 埜 弘 剛
 (TEL. 03-6262-8660)

平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 13 日に公表しました平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	706	44	43	13	6.77
実績値 (B)	585	42	42	9	4.69
増減額 (B)-(A)	△120	△1	△0	△4	—
増減率 (%)	△17.1	△4.5	△1.5	△30.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期)	689	154	△1	△11	△6.12

2. 差異の理由

(連結売上高)

当社のソフトウェア搭載の PC 等の出荷台数が想定を下回り、ライセンス・ロイヤリティ収入が計画より約 75 百万円下回りました。

また、開発案件の納品・検収が平成 29 年 7 月以降に後ろ倒しになったものがあり、受託開発収入が計画より約 44 百万円下回りました。

保守サービス・サポート収入は、概ね計画通りに推移しました。

(連結営業利益・連結経常利益)

連結売上高が計画を約 120 百万円下回りましたが、原価低減、経費節減に努めた結果、連結営業利益および連結経常利益はほぼ計画と同水準となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

当社および連結グループ各社ごとの税金等調整前四半期利益・損失に想定よりもばらつきが生じ、税額計算の結果、想定より法人税等の負担が大きくなったため、親会社株主に帰属する四半期純利益が、計画より約 4 百万円下回りました。

以 上